様式３（2015.06改）

作成日　令和２年２月１９日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000078
事業所名	グループホーム嬉楽家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	小・中学校との交流会やボランティアの受け入れ、地域行事への参加、ホーム行事への地域住民の参加と、双方向の交流が定着している。 ホームの名前の入ったジャンパーを着用して外出し、更なる知名度アップに努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	家族、地域、行政、知見者と、多数の参加者を得て、同じ敷地内の事業所と合同で運営推進会議を年6回開催している。 ホームからの状況報告や地域、行政の情報収集、防災関連等、議題は多岐にわたっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の職員と地域包括支援センター職員の両者が運営推進会議に参加しており、ホームの現状を把握している。 市が主催する研修や事業、交流会に積極的に参加し、情報収集を図り緊密に連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホームの餅つき大会や流しそうめん、日帰り旅行には多くの家族が参加し、運営推進会議にも複数の家族が参加している。 日常の来訪も頻回で、その都度意見や要望を聞き取り、コミュニケーションは良好である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○